

WAP125 の設定 サービス品質 (QoS) 設定

目標

ユーザ向けに望ましいサービスを提供することによってサービス品質 (QoS) が主にネットワークパフォーマンスを改善するのに使用されています。それは拡張なスループットに対するトラフィックの種類に基づいてトラフィックフローに優先順位をつけます。QoS は音声またはビデオのようなレイテンシに敏感なアプリケーションのためのトラフィックに優先順位をつけ、バルク データ転送のような非レイテンシーに敏感なトラフィックの影響を制御するために適用することができます。

Quality of Service を設定することはネットワークのパフォーマンスを最大化している間クライアントデバイスのための接続を改善します

この技術情報は WAP125 アクセス ポイントの QoS を設定する方法を示すことを向けます。

適当なデバイス

- WAP125

[Software Version]

- 1.0.0.3

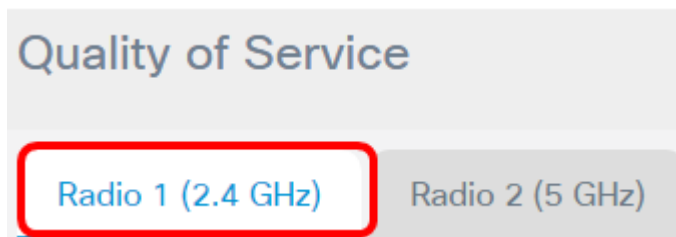
設定 Quality of Service (QoS)

ステップ 1. WAP125 の Webベース ユーティリティへのログインは > QoS 『Wireless』 を選択し。



ステップ 2.無線インターフェイスを選択して下さい。次のオプションがあります。

- 無線 1 (2.4 GHz) —このオプションは WAP125 の無線 1 の QoS を設定します。
- 無線 2 (5 GHz) —このオプションは WAP125 の無線 2 の QoS を設定します。



注: この例では、無線 1 (2.4 GHz) は選択されます。この技術情報で示されるステップはまた 2 を無線で送るために適用することができます (5 GHz)。

ステップ 3.ドロップダウン リストから拡張 な分散チャネル アクセス (EDCA) テンプレートを 選択して下さい。次のオプションがあります。

- WFA はデフォルトします—このオプションは自動的に Wi-Fi 同盟 (WFA) デフォルト値を用いる EDCA パラメータを読み込みます。この設定は一般の最もよい設定、混合されたトラフィックです。このオプションが選択される場合、[ステップ 13](#) に進んで下さい。
- 音声のために最適化される—このオプションは自動的に音声トラフィックのために最もよい値の EDCA パラメータを読み込みます。このオプションが選択される場合、[ステップ 13](#) に進んで下さい。
- カスタム—このオプションはあなた自身の EDCA パラメータを設定することを可能にします。

Radio 1 (2.4 GHz)
Radio 2 (5 GHz)

EDCA(Enhanced Distributed Channel Access)Template:

Custom ▼

WFA Defaults

Optimized for Voice

Custom

注: この例では、カスタムは選択されます。

ステップ 4.データ 0 (音声) のための調停インターフレーム領域フィールドで値を入力して下さい。調停インターフレーム領域 (AIFS) はデータフレームのための待ち時間です。これは 1 から 255 からのどれである場合もあります。データ 0 (音声) はこのキューに自動的に送られる時間に依存するビデオデータのためのキューです。それはまた最小遅延を用いる高優先度キューです。

WAP EDCA				
Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	Maximum Burst
Data 0 (Voice)	1	3 ▼	7 ▼	1.5
Data 1 (Video)	1	7 ▼	15 ▼	3.0
Data 2 (Best Effort)	3	15 ▼	63 ▼	0
Data 3 (Background)	7	15 ▼	1023 ▼	0

注: この例では、1 つは使用されます。

ステップ 5.最小コンテンション ウィンドウ ドロップダウン リストから最小コンテンション ウィンドウ設定を選択して下さい。オプションは 1、3、7、15、31、63、127、255、511、または 1023 です。このフィールドの値は最大コンテンション ウィンドウの値より下部である必要があります。最小コンテンション ウィンドウは伝達失敗の場合には再試行のためのウィンドウを判別します。

WAP EDCA				
Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	Maximum Burst
Data 0 (Voice)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="1.5"/>
Data 1 (Video)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="3.0"/>
Data 2 (Best Effort)	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="63"/> ▼	<input type="text" value="0"/>
Data 3 (Background)	<input type="text" value="7"/>	<input type="text" value="1023"/> ▼	<input type="text" value="1023"/> ▼	<input type="text" value="0"/>

注: この例では、7つは選択されます。

ステップ 6. 最大コンテンション ウィンドウ ドロップダウン リストから最大コンテンション ウィンドウ設定を選択して下さい。 オプションは 1、3、7、15、31、63、127、255、511、または 1023 です。 このフィールドの値は最大コンテンション ウィンドウの値より高い必要があります。 最大コンテンション ウィンドウはランダム バックオフ値の倍増のための上限です。

WAP EDCA				
Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	Maximum Burst
Data 0 (Voice)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="1.5"/>
Data 1 (Video)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="3.0"/>
Data 2 (Best Effort)	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="63"/> ▼	<input type="text" value="0"/>
Data 3 (Background)	<input type="text" value="7"/>	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="1023"/> ▼	<input type="text" value="0"/>

注: この例では、15 は選択されます。

ステップ 7. 最大バースト フィールドで最大バースト値を入力して下さい。 これは WAP からクライアントステーションにトラフィックフローにだけ適用します。 それは無線ネットワークの packets バーストのために認められるミリ秒の最大バースト 長さを規定します。 有効値は 0.0 から 999 です。

WAP EDCA				
Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	Maximum Burst
Data 0 (Voice)	1	7	15	2.6
Data 1 (Video)	1	7	15	3.0
Data 2 (Best Effort)	3	15	63	0
Data 3 (Background)	7	15	1023	0

注: この例では、2.6 は入ります。

ステップ 8.ステップ 4 からデータ 1 (ビデオ)、データ 2 (最もよい努力)、およびデータ 3 (バックグラウンド) のためのステップ 7 を実行して下さい。

イネーブル Wi-Fi マルチメディア (WMM) チェックボックスがチェックされることをステップ 9. (オプションの) は確認します。このオプションはデフォルトでチェックされます。WMM が有効になるとき、ワイヤレス中間アクセスの QoS プライオリティ設定および調整はオンになっています。有効にされて、WAP デバイスからのクライアントステーションへの WAP デバイスコントロールダウンストリームトラフィックフローおよびステーションからの AP へのアップストリームトラフィックフローの QoS 設定 WMM が。

Wi-Fi Multimedia (WMM) Enable

Station EDCA	
Queue	Arbitration Inter-Frame Space

注: この例では、Wi-Fi マルチメディア (WMM) はチェックされます。

ステップ 10.ステップ 4 からデータ 0 (音声)、データ 1 (ビデオ)、データ 2 (最もよい努力)、およびステーション EDCA エリアのデータ 3 (バックグラウンド) のためのステップ 7 を実行して下さい。

Station EDCA				
Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	TXOP Limit
Data 0 (Voice)	2	3	7	47
Data 1 (Video)	2	7	15	94
Data 2 (Best Effort)	3	15	1023	0
Data 3 (Background)	7	15	1023	0

ステップ 11. (オプションの) チェック WAP デバイスがサービス クラス値として QoSNoAck のフレームを確認するべきではないこと規定 するべき確認応答 Enable チェックボックス無し。

No Acknowledgement: Enable

Unscheduled Automatic Power Save Delivery: Enable

注: この例では、確認応答はチェックされません。

ステップ 12: (オプションの) 不定期自動節電配達 (APSD) Enable チェックボックスをチェックして下さい。これは VOIPフォンが WAP デバイスを通してネットワークに接続される場合推奨されます。

No Acknowledgement: Enable

Unscheduled Automatic Power Save Delivery: Enable

ステップ 13: [Save] をクリックします。



Quality of Service

Save

Radio 1 (2.4 GHz)

Radio 2 (5 GHz)

EDCA(Enhanced Distributed Channel Access)Template:

Custom

WAP EDCA

Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	Maximum Burst
Data 0 (Voice)	1	7	15	2.6
Data 1 (Video)	1	7	15	3.0
Data 2 (Best Effort)	3	15	63	0
Data 3 (Background)	7	15	1023	0

Wi-Fi Multimedia (WMM): Enable

Station EDCA

Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	TXOP Limit
Data 0 (Voice)	2	3	7	47
Data 1 (Video)	2	7	15	94
Data 2 (Best Effort)	3	15	1023	0
Data 3 (Background)	7	15	1023	0

No Acknowledgement: EnableUnscheduled Automatic Power Save Delivery: Enable

今うまく WAP125 の QoSパラメータを設定する必要があります。